

# 「定数減で報酬増」は正しいのか

寄居町議会において町政施行以来初めてとなった令和元年(平成31年)の「無投票」。私たちはなぜ「選挙」という貴重な政治参加の機会を生かせなかったのか？

同規模県内町村の平均額である27万4000円に合わせるべきだ。(4万2000円アップ)

議員報酬の増額が議員のなり手不足解消になるとは考えにくい

若い人は子育て世代。生活できる額でもある「手取り25万円以上(6万8000円アップ)」は必要。

同規模の県内町村の平均は15人。寄居も1減にすべきではないか。

(1委員会5人) 3委員会のときは議論を深めることができなかった。1委員会8人で16人が、1委員会6人×委員会数が必要だ。

議員報酬と定数は別の論理。定数は一度削減すると、増加は事実上不可能。なり手不足に拍車をかける。

全国町村議会議長会最終答申をもとに、議員全員協議会において最終的な議論を行った結果



## 町民の声

議員のなり手不足の原因はなんだと思いますか？(議会モニターアンケート)



町政に関心はあっても報酬の低さや家庭や仕事との両立が困難で立候補できない人もいます。こういう人を生かす方法を考えるべき。



- 1位…政治離れ
- 2位…仕事・家庭との両立困難
- 3位…定数・報酬の低さ

議会だよりに登場いただいた町民みなさんの声



子育て世代や会社員の人も立候補しやすい環境が必要ですね。江原麻衣さん



いまの議員報酬では、子育てはできませんよね。小豆島 啓さん

(ともにNo.98「特集…無投票でいいんですか?」より)

## ギカイ議論

Step / 01 「議員報酬と定数のあり方」を検討(議会改革検討委員会、議員全員協議会)

Step / 02 なり手不足解消のための条例づくり

- 令和2年12月定例会 [公職選挙法改正による条例の制定] 選挙費用の一部を公費負担し立候補しやすく
- 町村議会議員選挙にも供託金制度(15万円)導入
- ①選挙用自動車 ②政策ビラ作成 ③選挙用ポスター

●令和3年6月定例会 [寄居町議会規則の一部改正]

議会活動と家庭生活の両立を進める 議会の欠席理由に「育児」「介護」「看護」「配偶者の出産補助」が加えられる。

Step / 03 定数減 報酬増を考えたが…

- 令和3年9月定例会 議員全員協議会
- ①議員定数 現状維持…12人 改正すべき…4人
- ②議員報酬 現状維持…9人 改正すべき…7人

### サラリーマンにもチャンス

平成23年、議員年金制度が廃止。「年金や退職金がないから立候補できない」ということがないよう、地方議員の厚生年金への加入のための法整備を早急に実現することが必要。

議員スキルを上げる必要性 最終答申には「政務活動費の充実のための提言」が盛り込まれているが、寄居町は当初より政務活動費は交付されていない。

ここが課題!



### 他町村との比較は根拠になるか

●令和4年1月 議員研修 「議員報酬・定数のあり方」(大正大学教授 江藤俊昭氏)



### 議員報酬の考え方

議員のなり手不足の大きな要因の一つと指摘されている町村の低額な議員報酬の充実に向け、「原価方式」による議員報酬の算定モデル

$$\text{議員報酬額} = \frac{\text{議員の活動日数}}{\text{首長の職務遂行日数}} \times \text{首長の給与}$$

(モデル 305日)

※現在、寄居町の町長(給与)は75万6000円、寄居町議会議員(報酬)は23万2000円。この算定により、現在の寄居町議会議員の報酬額に見合うと思われる議員の活動日数は「94日」となります。

定数と報酬は別物です。町民と一緒に議論し、寄居独自のスタイルを。

講師 大正大学教授 江藤俊昭氏

大正大学社会共生学部公共政策学科教授。第29次・第30次地方制度調査委員(内閣府)、「町議会のあり方に関する研究会」委員(総務省)、全国町村議会議長会「議員報酬のあり方に関する研究会」委員長等を歴任。「議員のなり手不足問題の深刻化を乗り越えて」(公人の友社:2019)ほか著書多数

## 結論

# 安易な変更はしない

Step / 05 全国町村議会議長会「最終答申」を元に最終的な議論を行い結論を出した ●令和4年2月 議員協議会

### 議員報酬

23万2000円

現状維持(全会一致)

近隣市町と比較した結論ではなく、原価方式がベストだと考えた。今後は議員の活動量を住民に示していかなければならない。

近隣市町村の議員報酬と定数は? (令和4年4月1日現在)

熊谷市	月額 45万円	(定数30人)
深谷市	月額 40万3000円	(定数24人)
小川町	月額 24万2000円	(定数16人)

寄居町は月額 23万2000円 (定数16人)

### 議員定数

16人

現状維持(全会一致)

議会の存在意義である「議員間討議」をできる人数を基準とすること、委員会に少なくとも7~8人は必要。それに委員会数を乗じたものが議員定数であると考え。さらに、議員間討議には多様な声が必要。定数を減らせば議会の機能を低下させ、なり手不足に拍車をかけることが危惧される。

### Step / 04



江藤俊昭氏 「議員報酬・定数のあり方」講演ダイジェスト